



来年度改修予定の石峠橋



三ヶ尻隆雄議員

総合発展計画

豊間根地区3橋の補修計画

機能回復と地震対策を考慮

沼崎町長

- 質問 町第八次総合発展計画について問う。
- ①平成二十二年の人口を一萬九千五百五十四人と予測しているが、大きな誤差が生じ、交付税の減額などで計画への影響は。
 - ②「ふるさと農道桜野線」の整備が計画にない。今後の取り組みは。
 - ③豊間根地区三橋の補修事業の計画内容は。

- ①総合発展計画における平成二十二年度予測人口は、コーホート要因法に基づいて推計しており誤差は少ない。交付税減額については、むしろ平成十九年度からの新たな「三位一体改革」による影響を心配している。
- ②本路線は、平成十三年度に「ふるさと農道緊急整

- 備事業」で実施段階まで進んだが、一部地権者の同意が得られず中止した。今後は、用地確保を含めた整備方法や有効な事業導入を改めて検討する。
- ③本年度は調査設計を実施し、来年度から年次計画で石峠橋、島田橋、中村橋の順に行う。補修の概要は機能回復と地震対策を考慮した計画である。

町の考えを聞く



新たな時代のまちづくりを考える地域懇談会が各地区で開催されました（船越地区）

住民協働

住民協働推進室の今後の日程は

7月をめぐりに指針・原案をまとめる

質問

住民協働は本町が単独で進むためには避けて通れない大事な事業である。新たに設置した住民協働推進室の今後の日程は。

また、仮称「住民協働条例」あるいは「住民協働推

進委員会」の設置を視野に入れていくか。

沼崎町長

住民協働推進室は、現在、町内自治会、コミュニティ組織などの活動内容、他市町村の住民協働の実態調査を行っている。

仮称「住民協働条例」

「住民協働推進委員会」の内容については良く分からないが、特に条例を制定し事業を実施する予定はない。必要に応じて関係課や団体・住民と協議・検討する委員会は設置したいと考えている。

今後は、七月ころをめぐりに整理・検討を行い、その後、住民協働推進の指針原案をまとめる予定である。町民からも意見をいただく検討委員会を組織して本年度中には計画を策定したい。

ことば…コーホート要因法

将来人口を推計する手法で、コーホート（ある年齢層のかたまり）ごとの生存率や出生率などによって求めます。